

2020年度

環境経営レポート



対象期間：2020年4月～2021年3月



京都三菱自動車販売株式会社

(発行日：2021年6月1日)発行

環境経営方針

基本理念

京都三菱自動車販売株式会社は、環境保全が重要課題の一つであることを認識し、三菱自動車の販売・サービス(整備)を通じて、環境への負荷低減に自主的かつ継続的に改善に取り組むと共に、車の安全・安心を提供することに努力いたします。また、京都府や滋賀県の恵まれた自然環境を守りながら、地域企業市民として、積極的に地域社会の環境保全活動に取り組みます。

行動基準

1) エネルギーの有効利用と二酸化炭素の削減

エネルギー(電気・自動車用燃料)の使用量の負荷チェックを行い、省エネルギーによる二酸化炭素の削減に努め、継続的な環境改善と環境管理の維持向上に取り組めます。

2) 廃棄物の適正処理

一般廃棄物・産業廃棄物の分別による再資源化(リサイクル)と廃棄物の抑制に務め、適正処理いたします。

3) 水使用量の削減

水使用量の負荷チェックを行い、節水による排水量の削減に努め、環境の負荷低減に継続的に取り組めます。

4) 環境に配慮した製品・サービスの販売

二酸化炭素の抑制や環境負荷の低減に、電気自動車・ハイブリッド車の販売と法定点検の推進普及活動及び整備済み車両の作業手直し撲滅活動を積極的に取り組めます。

5) 環境関連法令の遵守

コンプライアンス経営の理念に基づき、環境関連法令と当社が締結した各種契約を遵守します。

6) 環境マネジメントシステムによる効果的運用

環境改善目標を定め、環境マネジメントシステムによる効果的運用に努め、継続的改善を図ります。

7) 環境保全を通じ社会貢献活動

NPO法人等で実施される、ペットボトルキャップ回収の福祉活動に、全社員が積極的に参画します。

8) この環境経営方針を全従業員に周知し、環境に関する教育や啓発活動に努めます。

2010年 10月 1日(制定日)

2019年 6月 1日(改定日)

京都三菱自動車販売株式会社

代表取締役社長 小林 康



■事業活動の概要

- (1) 事業者名及び代表者名
 京都三菱自動車販売株式会社 代表取締役社長 小林 康
- (2) 所在地
 京都三菱自動車販売株式会社 京都府京都市南区西九条菅田町15番地
 滋賀三菱自動車販売株式会社 滋賀県栗東市蜂屋963番地1
 株式会社ビーム 滋賀県犬上郡甲良町北落1257番地
- (3) 環境管理責任者氏名及び担当者連絡先
 責任者 営業本部長 樋口 正敏 TEL: 075-662-7611
 担当者 環境開発部 荻野 貴史 TEL: 075-662-7607
- (4) 事業内容
 (京都三菱・滋賀三菱)
 1.新車・中古車の販売 2.自動車の整備 3.部品・用品の販売 4.保険代理店業務 5.タイヤ倉庫業 (ビーム)
 1.三菱自動車の新車整備・用品取付 2.自動車の板金・塗装修理
- (5) 事業の規模 2021年4月～

	3社合計	京都三菱自動車	滋賀三菱自動車	ビーム
年間売上(百万円)	11,294	7,476	3,760	58
従業員(人)	553	380	154	19
店舗数	20	12	7	1
床面積 m ²	30,420	17,543	7,332	5,545

- (6) 事業年度 4月～3月



■認証・登録の対象組織 (2021年4月～)

京都三菱自動車販売株式会社

本社十条店 京都府京都市南区西九条菅田町15番地 TEL: 075-662-7611

第1営業

北山店 京都府京都市北区紫竹東栗栖町16番地-1 TEL: 075-491-1132
 カドノ店 京都府京都市右京区西院東貝川町58番地 TEL: 075-315-2211
 乙訓店 京都府長岡京市友岡4丁目19番9号 TEL: 075-953-1195

第2営業

亀岡店 京都府亀岡市千代川町小林下戸30番地-6 TEL: 0771-22-5343
 山科店 京都府京都市山科区東野八反畑町22番地-1 TEL: 075-592-5666
 宇治榎島店 京都府宇治市榎島町石橋31番地 TEL: 0774-21-4106
 京田辺店 京都府京田辺市三山木中央八丁目1番地3 TEL: 0774-62-2684

第3営業

舞鶴店 京都府舞鶴市京田丸山536番地 TEL: 0773-75-4160
 峰山店 京都府京丹後市峰山町菅730番地 TEL: 0772-62-2478
 福知山店 京都府福知山市興430番地-1 TEL: 0773-20-1713

クリーンカー伏見 京都府京都市伏見区横大路橋本20番地-2 TEL: 075-605-1555

滋賀三菱自動車販売株式会社



第1営業

本社栗東店	滋賀県栗東市蜂屋963番地1	TEL : 077-552-0371
草津店	滋賀草津市南草津2丁目1番21号	TEL : 077-564-1235
大津店	滋賀県大津市相模町2番地-48	TEL : 077-522-8802

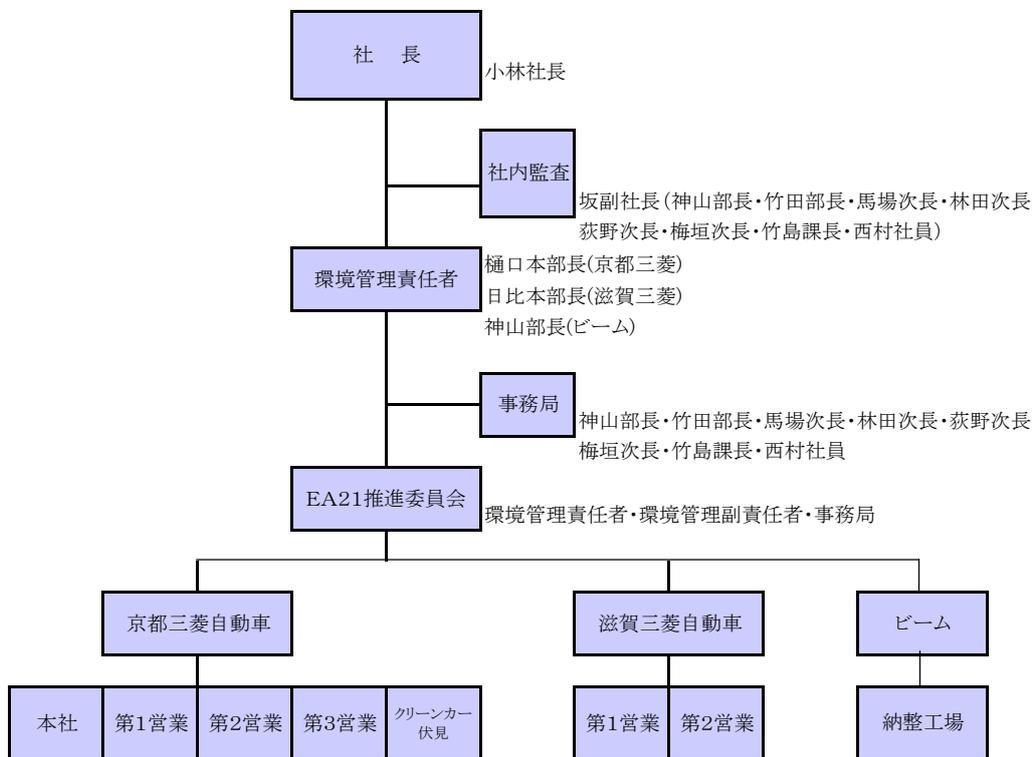
第2営業

高島店	滋賀県高島市安曇川町青柳1770番地-1	TEL : 0740-32-1611
水口店	滋賀県甲賀市水口町北泉2丁目33番	TEL : 0748-62-2345
近江八幡店	滋賀県近江八幡市馬淵町1679番地-1	TEL : 0748-37-4416
彦根店	滋賀県彦根市東沼波町180番地	TEL : 0749-22-4721

株式会社ビーム

滋賀県犬上郡甲良町北落1257番地 TEL : 0749-38-4670

■環境経営システム推進組織図



■主な環境負荷の実績(総負荷)

電力のCO2排出係数 0.389kg-CO2で算出(大阪ガスの調整後排出係数2017年度実績)
 (環境経営活動計画数値= 二酸化炭素排出量は電気(急速充電器含む)+燃料)
 (一般廃棄物は可燃ごみと再資源化物を含む、産業廃棄物は有価物も含む)

項目	単位	2010年 (導入時基準年度)	2018年	2019年 (基準年度)	2020年
二酸化炭素排出量	kg-CO2	2,311,867	1,476,667	1,425,706	1,266,884
電気使用量	kWh	2,532,919	1,942,905	1,903,607	1,755,060
ガソリン使用量	ℓ	468,619	221,655	200,793	170,175
廃棄物排出量	t	836.562	568.053	558.420	563.665
一般廃棄物排出量	t	114.199	69.399	66.350	62.445
産業廃棄物排出量	t	722.363	498.655	492.070	501.220
総排水量	m ³	22,353	16,465	16,534	16,790

■環境目標

電力のCO2排出係数 0.389kg-CO2で算出(大阪ガスの調整後排出係数2017年度実績)
 (環境経営活動計画数値= 二酸化炭素排出量は電気(急速充電器除く)+ガソリン燃料)
 (一般廃棄物は可燃ごみ、産業廃棄物は有価物を除く)

3社合計

項目	単位	2019年 (基準年度)	2020年		2021年		2022年	
			(19年基準)	削減率	(19年基準)	削減率	(19年基準)	削減率
二酸化炭素排出量	kg-CO2	1,277,209	1,277,209	0%	1,277,209	0%	1,277,209	0%
電気使用量	kWh	1,747,034	1,747,034	0%	1,747,034	0%	1,747,034	0%
ガソリン使用量	ℓ	192,638	192,638	0%	192,638	0%	192,638	0%
水道水使用量	m ³	16,009	16,009	0%	16,009	0%	16,009	0%
一般廃棄物排出量	t	16.070	14.463	-10%	14.463	-10%	14.463	-10%
産業廃棄物排出量	t	147.384	147.384	0%	147.384	0%	147.384	0%
法定点検台数	台	14,108	13,262	-	社内計画	-	社内計画	-
電気自動車の販売	台	192	249	-	社内計画	-	社内計画	-
ペットボトルキャップ回収量	kg	187.77	187.77	0%	187.77	0%	187.77	0%

京都三菱

電力のCO2排出係数 0.389kg-CO2で算出 吉祥院店は9月で閉店の為以降は目標から外す

項目	単位	2019年 (基準年度)	2020年		2021年		2022年	
			(19年基準)	削減率	(19年基準)	削減率	(19年基準)	削減率
二酸化炭素排出量	kg-CO2	835,979	835,979	0%	835,979	0%	835,979	0%
電気使用量	kWh	1,155,706	1,155,706	0%	1,155,706	0%	1,155,706	0%
ガソリン使用量	ℓ	125,189	125,189	0%	125,189	0%	125,189	0%
水道水使用量	m ³	11,414	11,414	0%	11,414	0%	11,414	0%
一般廃棄物排出量	t	9.579	8.621	-10%	8.621	-10%	8.621	-10%
産業廃棄物排出量	t	87.280	87.280	0%	87.280	0%	87.280	0%
法定点検台数	台	9,323	8,800	-	社内計画	-	社内計画	-
電気自動車の販売	台	114	157	-	社内計画	-	社内計画	-
ペットボトルキャップ回収量	kg	114.50	114.50	0%	114.50	0%	114.50	0%

滋賀三菱

電力のCO2排出係数 0.389kg-CO2で算出 長浜店は4月で閉店の為以降は目標から外す

項目	単位	2019年 (基準年度)	2020年		2021年		2022年	
			(19年基準)	削減率	(19年基準)	削減率	(19年基準)	削減率
二酸化炭素排出量	kg-CO2	403,770	403,770	0%	403,770	0%	403,770	0%
電気使用量	kWh	502,903	502,903	0%	502,903	0%	502,903	0%
ガソリン使用量	ℓ	67,234	67,234	0%	67,234	0%	67,234	0%
水道水使用量	m ³	3,947	3,947	0%	3,947	0%	3,947	0%
一般廃棄物排出量	t	6.401	5.761	-10%	5.761	-10%	5.761	-10%
産業廃棄物排出量	t	54.124	54.124	0%	54.124	0%	54.124	0%
法定点検台数	台	4,785	4,462	-	社内計画	-	社内計画	-
電気自動車の販売	台	78	92	-	社内計画	-	社内計画	-
ペットボトルキャップ回収量	kg	55.27	55.27	0%	55.27	0%	55.27	0%

ビーム

電力のCO2排出係数 0.418kg-CO2で算出(関西電力の調整後排出係数2017年度実績)

項目	単位	2019年 (基準年度)	2020年		2021年		2022年	
			(19年基準)	削減率	(19年基準)	削減率	(19年基準)	削減率
二酸化炭素排出量	kg-CO2	37,461	37,461	0%	37,461	0%	37,461	0%
電気使用量	kWh	88,425	88,425	0%	88,425	0%	88,425	0%
ガソリン使用量	ℓ	215	215	0%	215	0%	215	0%
水道水使用量	m ³	648	648	0%	648	0%	648	0%
一般廃棄物排出量	t	0.090	0.081	-10%	0.081	-10%	0.081	-10%
産業廃棄物排出量	t	5.980	5.980	0%	5.980	0%	5.980	0%
手直し作業の撲滅	h	19.2	19.0	-	社内計画	-	社内計画	-
ペットボトルキャップ回収量	kg	18.00	18.00	0%	18.00	0%	18.00	0%

■主要な環境経営活動計画の内容

取り組み項目	目標	実施項目
電気使用量の削減	【目標値】 2020年度±0%(19年度比) 2021年度±0%(19年度比) 2022年度±0%(19年度比)	①クールビズの継続とウォームビズを導入実施 ②冷暖房の設定温度の管理徹底 ③冷暖房のフィルター掃除をこまめにする ④使用時以外の場所は消灯の徹底を図る ⑤広告塔や野外照明のタイマー設定時間の徹底を図る ⑥照明機器のLED化を早期推進する
ガソリン使用量の削減	【目標値】 2020年度±0%(19年度比) 2021年度±0%(19年度比) 2022年度±0%(19年度比)	①社有車・セールスカーの定期点検を確実に実施する ②社有車・セールスカーはエコドライブを励行する ③効率的な訪問活動に努める ④運行管理簿による使用量の適正管理
水道水の削減	【目標値】 2020年度±0%(19年度比) 2021年度±0%(19年度比) 2022年度±0%(19年度比)	①洗車ホースに手元バルブを取り付け、不要な水を流さない ②各蛇口に節水シールを貼付け、日常的に節水を励行する ③社有車の過剰な洗車は行わない、洗車する場合は節水を励行 ④漏水の定期点検の実施
一般廃棄物の削減	【目標値】 2020年度-10%(19年度比) 2021年度±0%(20年度比) 2022年度±0%(20年度比)	①コピー用紙の使用量削減の徹底を図る ②リサイクルゴミの分別整理の徹底により廃棄量の削減を図る ③事務所ゴミ(廃プラ)の排出量を管理し削減 ④販促品、カタログ類の適正数量発注 ⑤5S活動の実践(整理・整頓・清掃・清潔・躰)
産業廃棄物の削減	【目標値】 2020年度±0%(19年度比) 2021年度±0%(19年度比) 2022年度±0%(19年度比)	①リサイクルゴミの分別整理の徹底により廃棄量の削減を図る ②事務所ゴミ(廃プラ)の排出量を管理し削減 ③5S活動の実践(整理・整頓・清掃・清潔・躰) (負荷の自己チェックシート焼却・処分を対象)
法定点検の販売	【目標値】 社内計画	①法令点検の入庫促進(社内計画による) ②ハーティプラスメンテナンス(メンテ18)販売による入庫確保 ③一般整備、板金修理入庫時に車両をチェック。 未実施ユーザーへの点検実施提案(廉価点検販売)
電気自動車の販売	【目標値】 社内計画	①I-MiEV・MINICAB-MiEV・PHEVの販売促進 ②全社スタッフの商品知識の向上を図る ③環境関連イベントへの参加 ④試乗会の開催
福祉貢献活動 (ペットボトルキャップ回収)	【目標値】 2020年度±0%(19年度比) 2021年度±0%(19年度比) 2022年度±0%(19年度比)	①ペットボトルキャップの回収 ②担当者による回収状況の発表 ③家庭で集めたキャップも回収 ④ペットボトルキャップで「 دونالد・マクドナルド・ハウス・チャリティズ・ジャパン」に寄付します
化学物質の取り扱いについて	-	PRTRに抵触するものがないので、目標の設定はしない

■環境経営活動計画の取組結果とその評価、次年度の取組内容

1. 2020年度の実績 (2020年4月～2021年3月 12ヶ月間)

3社合計

項目	単位	目標	実績	評価	削減/達成率
二酸化炭素排出量	kg-CO ₂	1,277,209	1,188,251	○	-7.0%
電気使用量	kWh	1,747,034	1,687,139	○	-3.4%
ガソリン使用量	ℓ	192,638	170,175	○	-11.7%
水道水使用量	m ³	16,009	16,790	×	4.9%
一般廃棄物排出量	t	14.463	13.984	○	-3.3%
産業廃棄物排出量	t	147.384	156.222	×	6.0%
法定点検台数	台	13,262	12,918	×	97.4%
電気自動車の販売	台	249	233	×	93.6%
ペットボトルキャップ回収量	kg	187.77	155.31	×	82.7%

電力のCO₂排出係数 0.389kg-CO₂で算出 長浜店・吉祥院店を除く
 (環境経営活動計画数値= 二酸化炭素排出量は電気(急速充電器除く)+ガソリン燃料)
 (一般廃棄物は可燃ごみ、産業廃棄物は有価物を除く)

◆ 取組結果の評価、次年度の取組内容

- 1) 電気使用量 **達成 -3.4%**
 ・全社員が意識して節電の取り組みを実施し、全社とも目標を達成した。
 また、照明のLED化による電気使用量の削減も貢献している。気温等の影響が大きいがエアコンの設定温度管理や、こまめな消灯で節電の取り組みを継続する。
- 2) ガソリン使用量 **達成 -11.7%**
 ・京都自・滋賀自は削減を達成し、全社合計としても目標を達成した。今後もエコドライブの実施や効率的な運行管理や、EV活用による燃料使用量の削減活動を継続する。
- 3) 水道水使用量 **未達成 +4.9%**
 ・節水意識は定着しているが、全社では目標は未達成となった。
 入庫量増減等に左右されるが、今後も節水の取り組みを継続する。
 また、門型洗車機を導入した店舗は洗車台数も増えた為、使用量も増えている。
- 4) 一般廃棄物排出量 **達成 -3.3%**
 ・一般ごみの分別廃棄について、昨年度の1割削減を目標に挑戦した結果、全社で目標より更に3.3%削減し達成した。京都自はわずかに未達成となったが、閉店店舗の廃棄物増加が原因の一つと考える。
- 5) 産業廃棄物排出量 **未達成 +6.0%**
 ・産廃に関しても分別は定着しているが、全社としては目標未達成となった。
 店舗改装や店舗閉鎖の際の排出が原因の一つと思われる。引き続き5S活動による整理・整頓及び分別を行い、排出量削減の為、取組みを強化する。
- 6) 法定点検の入庫促進 **未達成 97.4%**
 ・法定点検の必要性をアピールし入庫促進に努めている。
 京都自が僅かながら計画未達成となった。今後も店舗の予約管理を徹底し、入庫促進活動を強化する。
- 7) 電気自動車の販売 **未達成 93.6%**
 ・電気自動車販売計画は僅かながら未達成となった。
 試乗車等でEVの特徴・商品性をアピールし、販売活動することにより増販を目指す。
 また電動ドライブステーションの活用を強化する。
- 8) 社会福祉貢献活動(ペットボトルキャップの回収) **未達成 82.7%**
 ・ペットボトルキャップの回収活動は定着しており、継続しているが今年度は目標未達成となった。
 今後も活動を強化し継続する。



京都三菱

項目	単位	目標	実績	評価	削減/達成率
二酸化炭素排出量	kg-CO ₂	835,979	779,461	○	-6.8%
電気使用量	kWh	1,155,706	1,132,624	○	-2.0%
ガソリン使用量	ℓ	125,189	106,046	○	-15.3%
水道水使用量	m ³	11,414	11,711	×	2.6%
一般廃棄物排出量	t	8.621	8.772	×	1.8%
産業廃棄物排出量	t	87.280	89.126	×	2.1%
法定点検台数	台	8,800	8,401	×	95.5%
電気自動車の販売	台	157	160	○	101.9%
ペットボトルキャップ回収量	kg	114.50	84.52	×	73.8%

電力のCO₂排出係数 0.389kg-CO₂で算出(大阪ガスの調整後排出係数2017年度実績)
 (環境経営活動計画数値= 二酸化炭素排出量は電気(急速充電器除く)+ガソリン燃料)
 (一般廃棄物は可燃ごみ、産業廃棄物は有価物を除く)

◆ 取組結果の評価、次年度の取組内容

- 1) 電気使用量 **達成 -2.0%**
 - ・全社員に節電の取り組みが定着しており、目標を達成した。
 - ・気温等の影響が大きい項目ではあるが、こまめな消灯で節電の取組を継続する。
- 2) ガソリン使用量 **達成 -15.3%**
 - ・自動車燃料については、エコドライブや運行管理を徹底した結果、ガソリンが大きく削減出来た。
 - ・社有車EVの活用、エコドライブ実践等の取組を継続する。
- 3) 水道水使用量 **未達成 +2.6%**
 - ・節水意識は定着している。洗車機の新設や地下水を水道に切り替えた等、店舗状況によりばらつきが発生した。入庫車の洗車量や夏場の気温に影響されるが、今後も節水を継続する。
- 4) 一般廃棄物排出量 **未達成 +1.8%**
 - ・一般ごみの排出量は、イベントや店舗閉店による店舗のばらつきがあり、全社実績では目標未達成となった。分別廃棄や3Rの徹底等継続強化する。
- 5) 産業廃棄物排出量 **未達成 +2.1%**
 - ・産廃も未達成。廃プラスチックの総量削減(潰して廃棄等)を強化する。
 - ・今年度については、店舗改修や閉店店舗の廃棄物増が大きく影響したものと思われる。
- 6) 法定点検の入庫促進 **未達成 95.5%**
 - ・法令点検の必要性をアピールし、メンテナンスパックの販売強化に努めている。
 - ・店舗の早期予約管理を徹底したが、結果は目標を下回り未達成。今後も、入庫促進活動を継続する。
- 7) 電気自動車の販売 **達成 101.9%**
 - ・電気自動車については、全社員で販売活動に取り組み目標を達成した。
- 8) 社会福祉貢献活動(ペットボトルキャップの回収) **未達成 73.8%**
 - ・キャップの回収について、お客様にも理解を頂き取組み、社員は自宅から持ってくる等取り組んでいるが目標は未達成となった。今後も回収活動を継続する。
- 9) 吉祥院店が、9月末日で閉店となった



滋賀三菱

項目	単位	目標	実績	評価	削減/達成率
二酸化炭素排出量	kg-CO ₂	403,770	381,620	○	-5.5%
電気使用量	kWh	502,903	491,613	○	-2.2%
ガソリン使用量	ℓ	67,234	63,979	○	-4.8%
水道水使用量	m ³	3,947	4,581	×	16.1%
一般廃棄物排出量	t	5.761	5.112	○	-11.3%
産業廃棄物排出量	t	54.124	61.996	×	14.5%
法定点検台数	台	4,462	4,517	○	101.2%
電気自動車の販売	台	92	73	×	79.3%
ペットボトルキャップ回収量	kg	55.27	52.70	×	95.3%

電力のCO₂排出係数 0.389kg-CO₂で算出(大阪ガスの調整後排出係数2017年度実績)

(環境経営活動計画数値= 二酸化炭素排出量は電気(急速充電器除く)+ガソリン燃料)

(一般廃棄物は可燃ごみ、産業廃棄物は有価物を除く)

◆ 取組結果の評価、次年度の取組内容

1) 電気使用量 **達成 -2.2%**

・電力は目標を達成できた。然しながら上期の途中に店舗閉鎖や、電灯LED化等加味すると削減率は少ないとも考えられる為、21年度は再度節電意識を持って取り組みたい。

2) ガソリン使用量 **達成 -4.8%**

・燃料削減は目標を達成した。
継続して社内にてエコ運転励行し電気自動車を積極的に業務に活用する。

3) 水道水使用量 **未達成 +16.1%**

・水道水量の削減は目標未達成となった。
引続き、細やかな節水に取り組む。漏水は毎月チェック強化する。

4) 一般廃棄物排出量 **達成 -11.3%**

・一般廃棄物は目標を達成した。
更に分別及び正しく計量を指導するとともに、引き続き古紙等の分別意識向上による計画達成を目指したい。

5) 産業廃棄物排出量 **未達成 +14.5%**

・産業廃棄物は目標未達成となった。店舗閉鎖・店舗改装で増加も考えられる為、21年度再度分別に取り組みたい。金属部分を取外し廃棄し削減を図る。

6) 法定点検の入庫促進 **達成 101.2%**

・法定点検の必要性をアピールし入庫促進に努められたので目標を達成した。
今後も、継続して法定点検の入庫促進に努める。

7) 電気自動車の販売 **未達成 79.3%**

・計画未達成であった。今後も電動車両をアピールし販売計画を達成したい。

8) 社会福祉貢献活動(ペットボトルキャップの回収) **未達成 95.3%**

・エコキャップの回収活動は定着しているが、目標未達成となった。
今後も活動を強化し継続する。

9) 長浜店が、6月末で閉店となった。



ビーム

項目	単位	目標	実績	評価	削減/達成率
二酸化炭素排出量	kg-CO2	37,461	27,170	○	-27.5%
電気使用量	kWh	88,425	62,902	○	-28.9%
ガソリン使用量	ℓ	215	150	○	-30.2%
水道水使用量	m ³	648	498	○	-23.1%
一般廃棄物排出量	t	0.081	0.100	×	23.5%
産業廃棄物排出量	t	5.980	5.100	○	-14.7%
手直し作業の撲滅	h	19	3	○	-84.2%
ペットボトルキャップ回収量	kg	18.00	18.10	○	100.6%

電力のCO2排出係数 0.418kg-CO2で算出(関西電力の調整後排出係数2017年度実績)

(環境経営活動計画数値= 二酸化炭素排出量は電気(急速充電器除く)+ガソリン燃料)

(一般廃棄物は可燃ごみ、産業廃棄物は有価物を除く)

◆ 取組結果の評価、次年度の取組内容

1) 電気使用量 **達成 -28.9%**

・不必要な照明は消灯するなど努め目標を達成した。今後も継続して電力の削減に取り組む。意識の向上もあるが、新車納車整備作業の減少による達成が考えられる。

2) ガソリン使用量 **達成 -30.2%**

・社有車の使用は効率の良い稼働に努め、目標を達成した。今後も継続して自動車燃料の削減に取り組む。

3) 水道水使用量 **達成 -23.1%**

・節水に心掛け、スタッフの削減意識を高め効率の良い洗車をし、目標を達成した。また、新車納車整備作業の減少による水の使用量の減少が考えられる。

4) 一般廃棄物排出量 **未達成 +23.5%**

・有価物と産業廃棄物への分別強化したが目標未達成。今後もより一層の分別廃棄による排出量の減量を目指し、活動を継続する。

5) 産業廃棄物排出量 **達成 -14.7%**

・5Sの推進により目標達成となった。引き続き分別によるリサイクル化と廃棄物置場のコンテナ内をチェックを強化して排出量の削減に取り組む。板金課の閉鎖による削減が大きい。

6) 手直し作業撲滅 **達成 -84.2%**

・目標は達成した。今後もお客様目線で作業に取り組み、作業ミスの原因を共有化し生産性ロス無くす。

7) 社会福祉貢献活動(ペットボトルキャップの回収) **達成 100.6%**

・会社内と家庭での回収の意識が高まっており、継続したキャップ回収を進め、引き続き社会貢献活動に参画する。

8) 板金事業を廃止しタイヤ保管業を行う。



■エコアクション21取り組み以降の実績推移 全社分

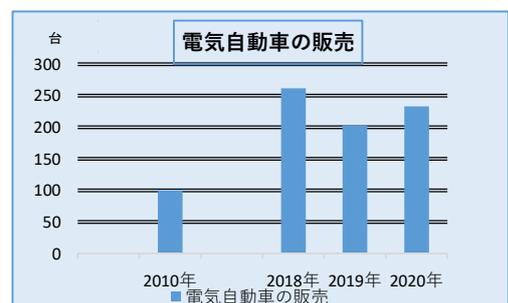
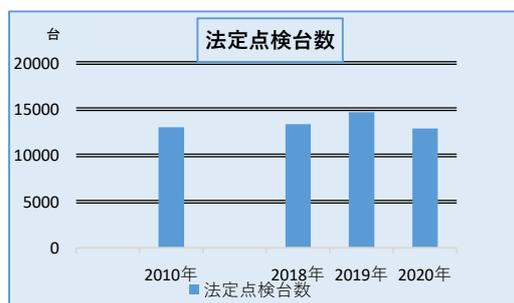
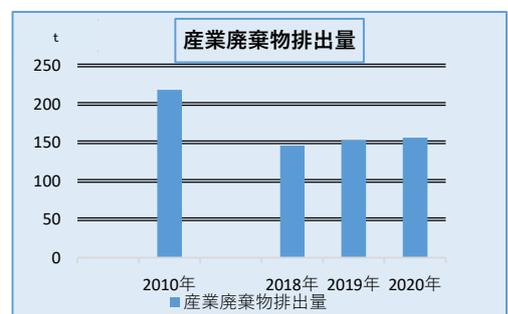
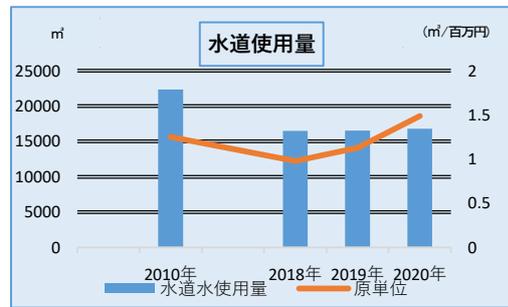
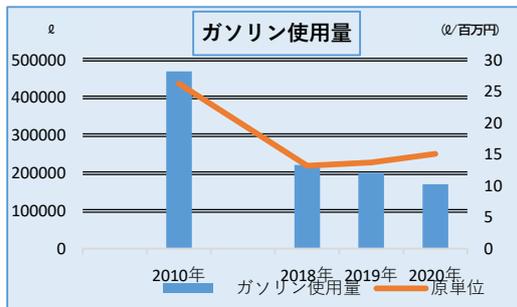
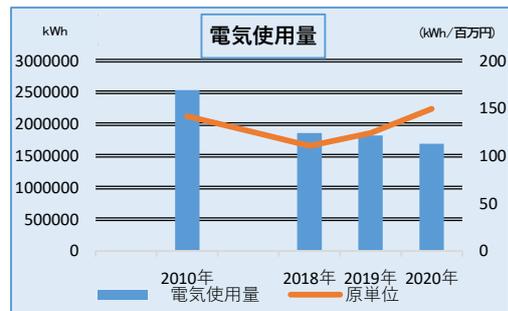
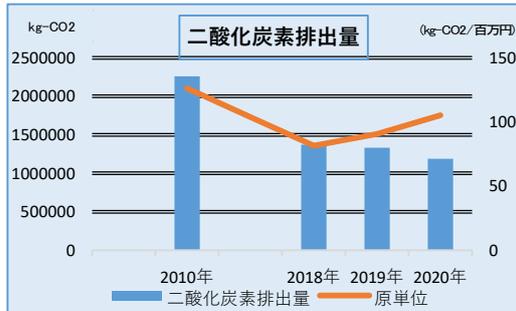
電力のCO2排出係数 0.389kg-CO2で算出(大阪ガスの調整後排出係数2017年度実績)

(環境経営活動計画数値= 二酸化炭素排出量は電気(急速充電器除く)+自動車用燃料)

2018年2019年は長浜店・吉祥院店を含む実績

項目	単位	2010年 (導入時基準年度)	2018年	2019年	2020年
二酸化炭素排出量	kg-CO2	2,258,512	1,372,472	1,329,758	1,188,251
電気使用量	kWh	2,532,949	1,859,852	1,818,761	1,687,139
ガソリン使用量	ℓ	468,619	221,655	200,793	170,175
水道水使用量	m ³	22,353	16,465	16,534	16,790
一般廃棄物排出量	t	24.627	14.359	16.548	13.984
産業廃棄物排出量	t	218.436	145.650	152.888	156.222
法定点検台数	台	13,034	13,368	14,671	12,918
電気自動車の販売	台	100	262	203	233
ペットボトルキャップ回収量	kg	89.00	169.92	196.77	155.31
年間売上	百万円	17,890	16,838	14,663	11,294

*原単位(折れ線グラフ): 年間売上高百万円当たりの使用量・排出量



1. 主な環境関連法規

適用される法規制	適用される事項(設備・物質・事業活動)	評価		
		京都	滋賀	ビーム
自動車リサイクル法	・使用済み自動車の引き取り ・フロン類回収 ・マニフェストによる移動報告	○	○	-
廃棄物処理法	・一般・産廃収集運搬業者との契約 ・廃棄物保管場所及び掲示板の設置 ・マニフェスト交付及び管理	○	○	○
騒音・振動規制法	・特定施設の届け出(圧縮機・送風機等) ・規制基準の遵守	○	○	○
下水道法	・特定施設の設置、使用届け出 ・下水への排水基準遵守	○	○	○
浄化槽法	・設置届け出と水質検査 ・処理基準の遵守(定期検査)	○	○	-
消防法	・危険物保管指定数量以上の許可届け出 ・少量危険物取扱い届け出 ・貯蔵所や取扱所の基準遵守 ・火災報知機の設置	○	○	○
労働安全衛生法	・有機溶剤中毒予防規則への対応 ・特定業務健康診断 ・リスクアセスメントの義務付け	○ ○ ○	- - ○	- - ○
PCB廃棄物特別措置法	・毎年報告が必要 ・保管基準の遵守(本社十条店が該当)	○	-	-
フロン排出抑制法	・業務用エアコンの簡易点検 ・7.5kW以上のエアコンの定期点検(3年毎)	○	○	○
京都府環境を守り育てる条例	・塗装・乾燥設備	○	-	-

2. 違反・訴訟の有無

- ・環境関連法規制等の遵守状況に違反なく、また訴訟や環境関係当局からも環境関連法及び条例等の違反の指摘等も過去3年ありません。

■代表者による全体の評価と見直し・指示

<p>1. 環境活動の評価</p> <ul style="list-style-type: none"> ・前年同数値(一般廃棄物を除く)を目標として取組んだ。環境活動が定着し、排出量はE A 2 1 取組当初より大きく改善しているが、意識や努力による排出量の削減は下限に近付いている感がある。 ・電気・自動車燃料の削減は、全社員に節約意識が定着しており、全社の実績は目標達成となった。今後も意識して削減を行う。 ・一般廃棄物は前年90%を目標に取り組み、目標以上に削減された。産業廃棄物については目標未達成となった。ショールーム改装や店舗閉鎖に伴う産廃排出が増加の一因とみられる。 ・水の使用量については未達成。門型洗車機を導入した店舗が増えており、洗車台数の増加が一因と思われる。 <p>2. 環境方針・目標等の見直し</p> <ul style="list-style-type: none"> ・2021年度は、基準年度の見直し(変更)を行う。一般廃棄物を含め基準年比100%を目指す ・環境経営方針は現状で問題が無い為変更しない。 <p>3. 今後の対応</p> <ul style="list-style-type: none"> ・今後も照明のLED化未実施店舗の照明器具を計画的にLED照明へ更新し、CO2排出量の削減を行うとともに長期視点での経費削減を図る。 ・環境管理責任者や担当者に対する、環境保全活動に関する社内専門教育を強化する。 ・E A 2 1 事務局会議の定期的な開催を継続し、会議の内容についても、より具体的な活動に結びつくような事案の検討を行う。 ・法令遵守は、会社方針の最重要項目の一つである、又、各市町村により違う条例についても内容や改正点を確認し、法令違反や条例違反が発生しないよう指導・監督を継続する。

■その他の取組

◇環境保全優良自動車関連事業場等の受賞

近畿運輸局長表彰の全店受賞(平成23年)

京都三菱 全店舗

滋賀三菱 全店舗

ビーム (全社全店舗受賞)

◇京都市 ごみ減量・3R優良事業所 永年認定

(平成28年)



◇エコアクション21ニュースの発行



◇ペットボトルキャップ回収(福祉活動)



ペットボトルキャップ回収箱

'20年度 約 76,540個回収
活動開始より 約 717,767個回収

◇古切手回収(福祉活動)



日本郵便文化振興機構へ寄贈
(社)京都モデルフォレスト協会に寄付
京都の森林を守り育てる活動に役立ちます

◇油漏洩緊急対策キット全店配備



◇ごみ分別容器(ごみ箱)の色分け表示の統一



◇照明器具LED化工事 (サービス工場)



◇湖南市と災害時協力協定に基づきPHEVを災害支援車として派遣する為、防災訓練に参加



◇地球温暖化対策の一環として、次世代自動車の展示会を開催(滋賀県 草津ショッピングセンター)



◇5S活動を毎月実施

(事務所内)



(工場内)



◇本社十条店・本社栗東店に電動ドライブステーションを設置してPHEV車の利便性をアピール

電動 DRIVE STATION

本社十条店は、「電動 DRIVE STATION」本社十条店として電動車両の意義であるエネルギーソースの多様性と、外部給電機能がもたらす価値を具現化した店舗へと生まれ変わりました。

太陽光発電とV2H機器
ならびに既存の電送網の
組み合わせの中で
“電動車両”のある暮らし
を Demo 体験していただけます。

太陽光発電システム & 系統連携型 V2H 機器

エネルギーの多様性を具現化

V2H機器 太陽光発電パネル

※電動ドライブステーションの詳細についてはこちらをご覧ください。

◎ライフスタイルコーナー

停電時等にPHEVを接続すると家電がどれだけ使用できるかを体感できるコーナー(最大1500Wの出力)



◎太陽光パネル設置

太陽光パネルを16台設置してライフスタイルコーナーの電気を供給する



*「電動 DRIVE STATION」は、電動車両(EV・PHEV)の意義であるエネルギーソースの多様性と、外部給電機能がもたらす災害時の価値を具現化した店舗です。

京都三菱自動車 北山店のショールームがリニューアルオープンしました(2020年9月)



三菱自動車 車検・点検・メンテナンスのご案内



経営理念

創造はわが社の力なり
誠実はわが社の心なり
奉仕はわが社の願なり